

2024年度 第73次

愛知県教育研究集会

◇スローガン

憲法と47年教育基本法の精神にもとづいて、生徒・保護者・地域に開かれた参加と共同の学校づくりをすすめよう。

子どもの権利条約の精神を活かし、すべての子どもが社会の未来を担う主権者として成長する教育実践をめざして、交流しよう。

主催団体:

愛知県高等学校教職員組合 名古屋市立高等学校教員組合
愛知県私立学校教職員組合連合 名古屋大学職員組合
東海地区私立大学教職員組合連合

連絡先:愛知県高等学校教職員組合 TEL052-261-8155

日時 10月14日(祝・月)9:30~16:00(受付9:00~)

会場 椋山女学園中学校・高等学校(参加費 無料)どなたでも参加可!

* 会場校へは公共交通機関でお越しください。(駐車場無し)

* 託児室あります。

★★ 教材交流しましょう! ★★

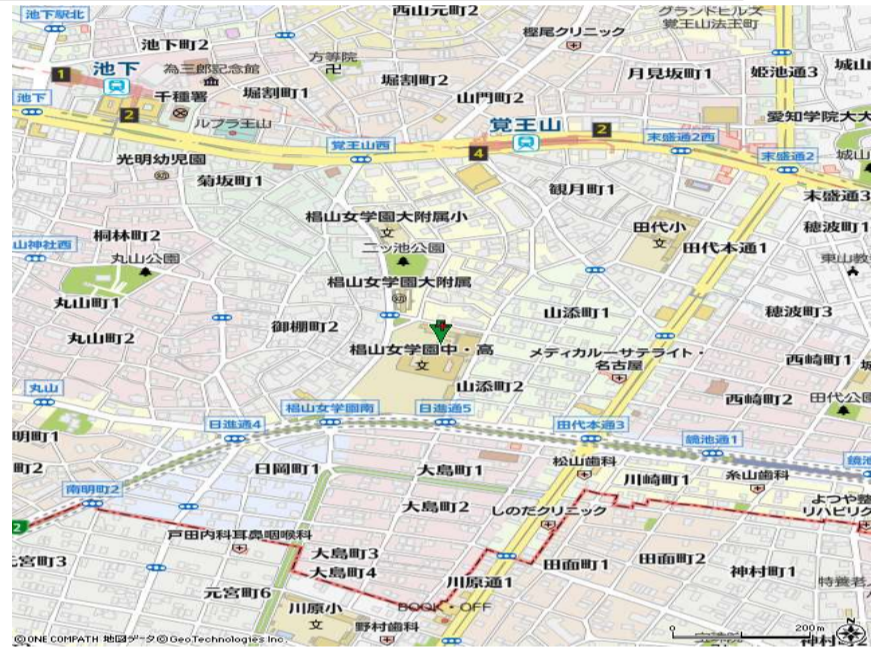
レポートとは別に各分科会会場(教科別中心)の廊下に持ち寄った教材を交換する場を設置します。参加者が持ち寄った教材を並べ、自由に持っていきけるようにしたいと思います。ご自分の教材を気軽にお持ちください。

※上履き不要です※

◇全体集会◇ 9:30~9:50

◇午前の分科会◇ 10:00~12:20 問題別

会場への
アクセス



分科会名	担当者(職場)	レポーター・助言者(職場) レポート題名・分科会の内容など
1 主権者教育・HR・自主活動・学校づくり(311)	神谷 舜(蒲郡夜) 宇佐美祐貴(名古屋西) 中根 大成(名古屋市立工芸) 木本みのり(安城学園)	榊原 伶兼(岡崎工科)「工科高校の主権者教育」 神谷 舜(蒲郡夜)「教務とHRづくり」 岩本 聖子(名古屋市立工芸)「社会に開かれた生徒主体の地域連携」 中村 友洋(安城学園)「投票経験と主権者教育」 社会科や学級担任に丸投げされがちな主権者教育・HR づくりについて、それ以外の教員に何ができるかを考えて行きたいと思っています。各職場の様子や実践を共有しながら、どのように考え、実践していけばよいか議論します。
2 平和と教育(312)	小寺 朝美(港特支) 長田 雄人(小牧南) 古澤 圭(菊里) 古澤 歩(聖霊)	講師: 大村 義則氏(原水協)「『希望の光』をたどり核兵器のない平和な世界へ」 ① 核破局の瀬戸際ともいえる国際情勢、②「希望の光」は核兵器禁止条約、③国連憲章にもとづく国際秩序の再建・強化、④軍事費拡大、「核の傘」依存の日本、⑤来年2025年は被爆80年
3 両性の平等・性教育(313)	船戸 有子(守山) 後藤 静(杏和) 宮下 重和(南山) 齋藤 啓美(名古屋商業)	竹内佐和子(千種)「社会に開かれた教育実践—韓国スタディツアーを通じた体験学習考察—」 11月2日(土)・3日(日)に「全国女性教職員学習交流集会 in 愛知」が開催されます。その分科会の一つ“韓国の先生たちと語ろう~平和教育・組合活動・交流”は、昨年夏に名古屋 YWCA と共同で行った、韓国スタディツアー「日韓の過去を知り、今を学び、未来を作る」から生まれました。ツアーでは、「ソウル市平等活動支援センター」「アハ!ソウル市立青少年性文化センター」などを訪れ、ジェンダー平等について考察を深めました。ツアーを通じた学びを「全国女性教職員学習交流集会 in 愛知」のプレ企画として県教研でも共有したいと考えています。
4 多様性(314)	渡邊 武志(半田) 鈴木 真弓(若宮商業) 松本 一成(東海中学校)	遠藤 俊彦(木曾川)「学校現場を支える保健室」 松本 一成(東海中学校)「東海中高の相談室」 生徒の健康管理や悩み相談、熱中症、不登校、自殺対策と対応が多岐にわたる今の保健室や相談室。どれもこれも安心・安全な学校生活には欠かせない。しかし、養護教諭は一人と環境整備がされない学校現場。こんな問題を皆さんと話し合しましょう。
5 貧困と格差(209)	松崎 泰子(岩津) 福富 治郎(私教連) 清水麟之介(菊里)	波部 高志(名古屋工科)「数年前まで感じていた格差と、近年感じる格差についての私見」 柴田 律(名古屋工学院専門学校高等課程2年生)「一億円募金の取り組み」 三宅 昌代(愛知父母懇談会平和サークル) 「生徒と共に学ぶ平和学習~平和の灯・自転車ピースリレー・平和スタディツアーに付き添って~」 野末 訓章(南山高等学校男子部)「2024年、県署名の再開へ ~直接助成・無償化世帯の拡充に向けて~」 生活に余裕のない生徒が一定数通学していました。その状況は今も変わりませんが、以前とは異なる生徒の難しさを感じています。生徒とのかかわりの中で感じる、困難さや課題について交流できれば、と思っています。

6	「探究」 (210)	堀 直予(豊田南) 森下 香織(桜台) 小西 孝典(名古屋大谷) 田代 陽子(西陵)	伊藤 泰之(津島)「高校社会科の探究実践」 石川 知穂・森下 香織(桜台)「桜台高校3年間の総合的な探究の時間」 キャリアナビゲーター 児塚 みほ(西陵)「西陵高校探究活動」 小牧 政文(杜若)「杜若高校の総合探究」 テーマ「探究」を「探究」する 「総合的な探究の時間」「教科」「キャリア教育」の探究的な学びの実践を報告していただき、探究とはなにか、教師の役割は、など、参加者のみなさんとともに「探究」したいと思います。
---	---------------	---	---

◇午後の分科会◇ 13:40~16:00 教科別+定通教育+職業教育

	分科会名	担当者(職場)	レポーター・助言者(職場) レポート題名・分科会の内容など
7	国語 (311)	丸谷 大輔(西春) 菅野 瑞己(名古屋西) 赤松 憲(若宮商業) 太田 丈也(岡崎城西)	二村 航平(同朋)「言文、書き下し奮闘記」 加藤 誠司(山田)「ロイロノートを活用した古典探究の実践」 榊原 志保(半田農業)「POPを活用したビブリオバトルの実践について」 新学習指導要領も3年目となり、これで3学年すべてとなり、新しい実践も徐々に浸透してきました。まだまだ試行錯誤の段階ですが、日々の授業の糧やヒントとなれば幸いです。ぜひ、覗いてみてください。
8	社会 (312)	今井 英夫(岡崎) 堀内 陽来(緑) 杉浦 浩司(黎明)	今井 英夫(岡崎)「地域には歴史がゴロゴロ」 堀内 陽来(緑)「授業紹介：他教科・科目とのコラボ授業(緑高校)」 高橋 民子・柴田 博之(南山女子部)「私のまちの中世・近世～日本史探究の取り組みの紹介～」 社会科教科懇(愛知私教連)「ぼくもいっさに征くだけけれど～徴兵制から国を考えてみる～」 愛高教・名高教・私教連の三者からレポートを発掘しました。特に、今年は地域にこだわったレポートが揃いました。また、戦後80周年にむけての助走期間と位置づけ、平和に関するレポートも発掘しました。飛び入り報告も歓迎です。
9	数学 (313)	落合 洋子(名古屋南) 西田 有佑(東海学園)	落合 洋子(名古屋南)「観点別評価」・・・みなさんはどうしていますか?～アンケート結果を元に～ 小西 孝典(名古屋大谷)「名古屋大谷高校の観点別評価」 みんなを悩ませている「観点別評価」について、アンケート結果をたたき台にして、批判的に検討します。それぞれが思っていることをたくさん話しましょう!例年通りの「実践レポート」の当日持ち込みも大歓迎です!
10	理科 (物理室:230)	山田 光雄(長久手) 倉知 愛加(新川) 山本 泰也(名古屋市立工業) 太田 楓(名古屋たちばな)	平賀げんじろう(愛知県立高校)「完全閉鎖生態系における脊椎動物の世代交代について」 石川 哲(名古屋市立高校)「『生物知ってるかな』アンケート」 平野 志帆(岡崎城西)「私立学校における新人教員の試験実践」 レポート発表とともに、教材や実験等の交流を行い楽しく充実した教研にしたいと思います。教材や小道具等なんでもかまいませんので持ち寄っていただき交流しましょう。
11	外国語 (209)	森田一二三(尾北)	青山 浩幸(豊橋工科)「明日の授業で使える英語活動 小ネタ・小ワザ」 森田一二三(尾北)「授業のヒントと時短のアイデア」 東海高校英語科「英語を用いた総合探究の授業について」 日々の授業での実践例を元に、すぐに使えるようなアイデアを共有し、交流したいと思います。そこから広げて、「観点別評価」「スピーキングテスト」「ライティング評価」「採点補助システム」「マークシート」「グループフォームズ」「Kahoot!」「Scrabble」「カードゲーム」などなども話題にしたいと思います。
12	障害児教育 (210)	三谷 真大(小牧特支)	佐藤 絢香(半田特支)「この時間は何だろう?～働くことについて考える～」 助言者：竹沢 清氏(元愛知県ろう学校教員) 「働くって何だろう?」「作業学習の意味って?」疑問をもちながらも日々の授業に追われていませんか?高等部の作業学習の実践を通して、みんなで考え、理解を深めたいと思います。
13	養護 (411)	浦濱奈津美(いなざわ特支) 岩本 実希(名古屋商業) 松波 敦子(名経大市邨)	講師：倉田 久子氏(全国柔道事故被害者の会代表)「部活動における重大事故から考える、学校安全とは」 部活動中に起こった重大事故のご遺族から事故についてお話をいただきます。今回お話しいただくご遺族の方と、事故が起きた学校は今でも温かな交友が続いていると聞きます。共に再発防止という目標に向かって歩みを進めていくために何をすべきか、どう動くべきなのかを学校側の視点だけでなくご遺族の視点から伺います。
14	定通教育 (412)	谷澤 文彦(城北つばさ夜) 安田 香(市立中央)	谷澤 文彦(城北つばさ夜)「県立高校定通フレキシブルハイスクールについて」 安田かおり(中央高校昼)「つながるアウトリーチ」 講師：加藤 早耶香氏(全国こども福祉センター) 名高教:全国こども福祉センターの活動内容・アウトリーチを通じてつながる事の大切さや、関係性づくりの重要性を交流・グループワークを通じてみんなで考えていきます。 愛高教:いよいよ来年度開校する「フレキシブルハイスクール」の課題について、みなさんと一緒に考えていきます。
15	職業教育 (413)	吉田 等(総合工科)	関谷 絹世(吉良)「専門学科 家庭」での生徒の成長とその問題点 後藤 静(杏和)「高校生が“ふくし”を学ぶ・考える その意味を問う」 「介護福祉士の養成校」と「幅広い教養としての福祉教育校」の二種の福祉教育について報告します。生活文化科での学び(授業・検定・行事)をとらした生徒の成長を紹介し、その背景にある問題点を考えます。